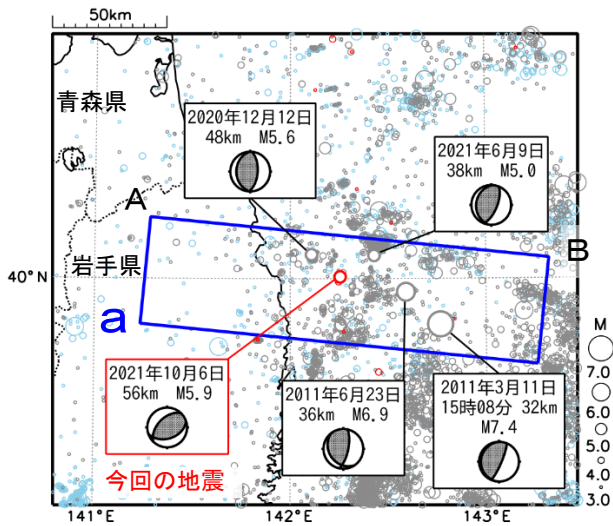


10月6日 岩手県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2021年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
 2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
 2021年10月の地震を**赤色**で表示
 図中の発震機構はCMT解

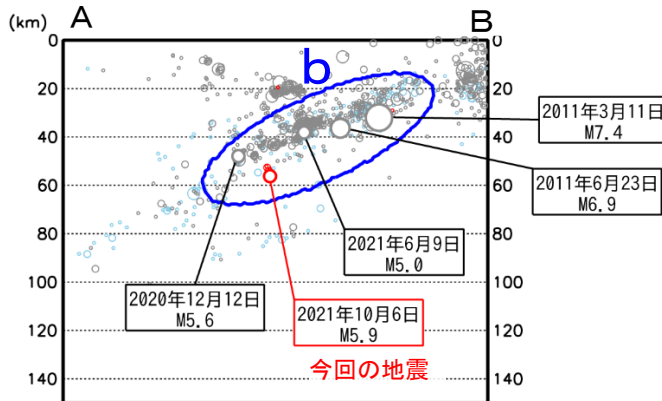


2021年10月6日02時46分に岩手県沖の深さ56kmでM5.9の地震（最大震度5強）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した。この地震により軽傷3人、住家一部破損1棟の被害が生じた（10月13日17時現在、総務省消防庁による）。この地震の発生以降、この地震の震源付近では10月31日までに最大震度1以上を観測した地震が4回（震度5強：1回、震度3：1回、震度2：2回）発生している。

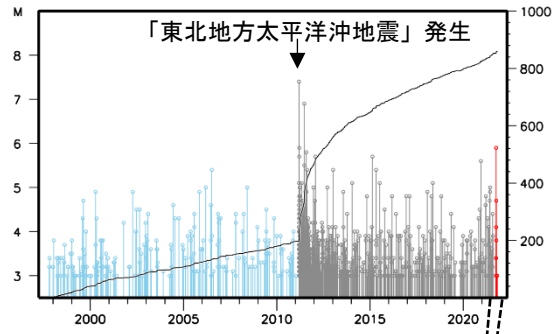
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動が活発になり、M5.0以上の地震がしばしば発生している。2011年6月23日に発生したM6.9の地震（最大震度5弱）では住家一部破損1棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震（最大震度5）が発生した。

領域a内の断面図（A－B投影）

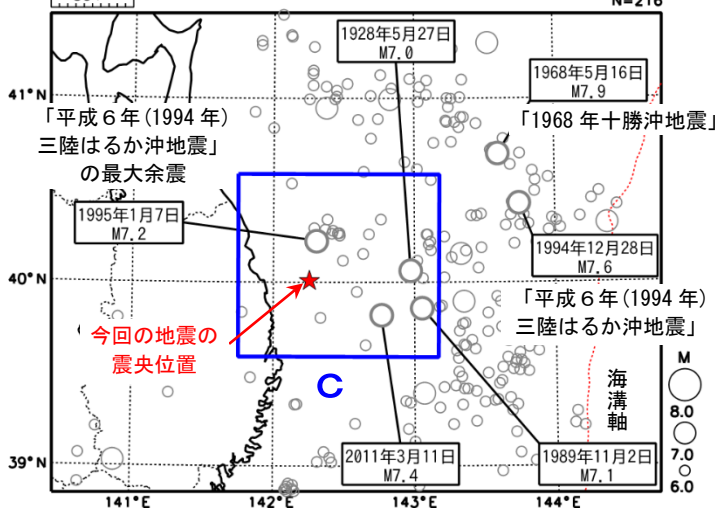


領域b内のM-T図及び回数積算図

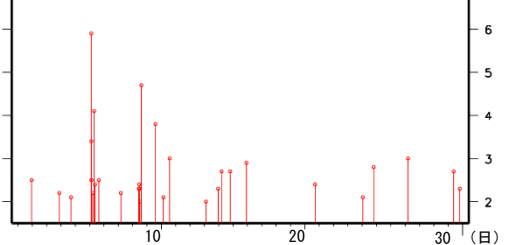


震央分布図

(1919年1月1日～2021年10月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



2021年10月1日～10月31日、 $M \geq 2.0$



領域c内のM-T図

